

<<米国 FDA による リコール情報（2025 年 5 月分）>>

2025 年 5 月に米国食品医薬品局（FDA）により発出されたリコール情報は 30 件であり、その内訳は以下の通り。

リコール理由	件数
有害病原菌の検出 （リステリア 1 件、サルモネラ 14 件）	15 件
アレルゲン表示漏れ	12 件
栄養補助食品に医薬品有効成分が含まれている	1 件
高濃度の鉛	1 件
亜硫酸塩表示漏れ、およびアマランス（許可されていない着色料：赤色 2 号）が含まれている	1 件

2025 年 5 月に FDA から発行された 30 件のリコール情報のうち、有害病原菌汚染（リステリア菌、サルモネラ菌）によるものが 15 件、ラベル表示におけるアレルゲンの記載がなかったものが 12 件であり、これら 2 つがリコール理由の 9 割を占めた。「企業名（Company Name）」から、日系企業の現地法人にかかるリコール案件は確認されなかった。

<有害病原菌の検出>

ボツリヌス菌、カンピロバクター、O157:H7 およびその他の腸管出血性大腸菌、リステリア菌、サルモネラ菌やマイコトキシン等の有害細菌が食品に含まれると、広範囲かつ重篤な食中毒の原因となる可能性がある。今月は、サルモネラに関する 14 件のリコールのうち、10 件が丸ごとの新鮮なキュウリに由来していた。サルモネラ菌は、幼児、虚弱者、高齢者、免疫力が低下している人々に重篤な、場合によっては致命的な感染症を引き起こす可能性のある細菌である。サルモネラ菌に感染した場合は、発熱、下痢（血便の場合もある）、吐き気、嘔吐、腹痛などの症状を示すことが多い。まれに、サルモネラ菌が血流に入り込み、動脈感染症（感染性動脈瘤など）、心内膜炎、関節炎などの、重篤な疾患を引き起こすことがある。そのため、これら有害病原菌による食品の汚染が発生しないよう、十分注意する必要がある。

<アマランス（許可されていない着色料：赤色 2 号）>

アマランス（日本名 赤色 2 号）は、発がん性、または生殖器系への毒性があるという理由で、米国では 1976 年に食品への使用が禁止されているものの、日本では使用が許可されている合成着色料である。そのため、米国向け製品に含まれていないよう注意が必要である。なお、米国では 2025 年 4 月に、米国保健福祉省と FDA が、米国内で食品に使用されている石油由来の合成着色料の使用を、段階的に廃止することを発表し、今後一層、様々な合成着色料の米国市場からの排除が進むとみられる。使用禁止された色素を使用していると、米国市場でリコールの対象となったり、輸入品の場合、港で入国が拒否されるなど、執行の対象となるとみられる。

具体的には、FDA により以下の対応が実施されている。

- 今後数か月以内に、2 種類の合成着色料（シトラスレッド No.2（一部のオレンジの皮に使用されるオレンジ色の着色料で、日本では使用が許可されていない）とオレンジ B（ソーセージの皮などの着色料。米国では現在使用されておらず、日本でも許可されていない）の認可を取り消す手続きを開始する。
- 6 種類の合成着色料（FD&C グリーン No.3（日本名 緑色 3 号）、FD&C レッド No.40（日本名 赤色 40 号）、FD&C イエロー No.5（日本名 黄色 4 号）、FD&C イエロー No.6（日本名 黄色 5 号）、FD&C ブルー No.1（日本名 青色 1 号）、FD&C ブルー No.2（日本名 青色 2 号）を 2026 年末までに食品供給から排除する。
- FD&C レッド No.3（赤色 3 号）に関しては、食品会社に対し、2027～2028 年という従来の期限よりも早く使用を止めるように、要請をしている。
- 一方、天然由来の 3 種の色素、ガルディエリア、バタフライピー、リン酸カルシウムが 2025 年 5 月 9 日に承認された。

出所：[リコール、市場からの撤退、および安全に関する警告](#)（英語）

【免責条項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。米国輸出支援プラットフォームでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、米国輸出支援プラットフォームおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

本レポートに関する問い合わせ先：

米国輸出支援プラットフォーム（ジェトロロサンゼルス事務所）

TEL：1-213-624-8855

Email：lag-USPF@jetro.go.jp

Eureka Global Solutions 作成